



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月3日

上場会社名 カネヨウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3209 URL <http://www.kaneyo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西野 幸信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役職能担当 (氏名) 保坂 和孝

TEL 06-6243-6500

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,837	79.7	15		7		6	
30年3月期第1四半期	1,578	10.8	4		9		65	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	0.44	
30年3月期第1四半期	4.65	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
31年3月期第1四半期	5,823		1,364		23.4	97.25
30年3月期	5,553		1,306		23.5	93.12

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 1,364百万円 30年3月期 1,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	27.0	300	37.7	230	17.4	160	25.2	11.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	14,066,208 株	30年3月期	14,066,208 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	36,390 株	30年3月期	36,390 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	14,029,818 株	30年3月期1Q	14,031,366 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、政府・日銀による経済・金融政策の効果もあり、企業収益や雇用が堅調に推移しました。また、所得環境が改善傾向にあるなど、低迷する個人消費においても一部明るい兆しが見受けられるようになりました。一方で、海外における保護主義的な通商政策や、地政学的リスク等は燻り続け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で、当社におきましては、在庫や資金の効率性を重視した経営、新たに加わった輸出貿易事業との融合やシナジーの拡大を目指した経営を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高28億37百万円(前年同期比79.7%増)、営業利益は15百万円(前年同四半期は営業損失4百万円)、経常損失は7百万円(前年同四半期は経常損失9百万円)、四半期純損失6百万円(前年同四半期は四半期純利益65百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①寝装用原料

羊毛原料は不需用期でもあり動きが少なく、売上は前年同期を下回りました。

羽毛原料は販売先の拡大と原料価格の値上がりで、売上は前年同期を上回りました。

合繊原料は原料の値上がりが続いており、利益面で苦戦しました。

その結果、売上高は6億62百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は24百万円(同11.9%増)となりました。

②寝装製品

ガーゼケットが順調に販売出来たこと、秋冬が主力となるムートン製品が動きをみせたこと、シルク原料が広がりを見せたことで、売上・利益ともに前年同期を上回ることが出来ました。

その結果、売上高は2億13百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は5百万円(同597.7%増)となりました。

③リビング・インテリア用品

カーペット関係では、不振が続いた紙面通販に底打ち感が出てきました。また、インターネットやテレビ通販も好調に推移しました。

輸入カーテンは取扱いを大幅に伸ばすことができ、売上・利益とも前年同期を上回ることが出来ました。

その結果、売上高は3億37百万円(前年同期比47.5%増)、営業利益は13百万円(前年同期比31.2%増)となりました。

④生地反物等繊維製品

手袋用途や京都特有の狭巾の生地の販売が苦戦しました。

アパレル向けの製品は前年同期に比べ、売上を伸ばすことが出来ませんでした。

寝装用生地の販売も、羽毛ふとんの不需用期であり売上が前年同期を下回りました。

その結果、売上高は1億84百万円(前年同期比37.5%減)、営業利益は5百万円(同53.8%減)となりました。

⑤生活関連用品

農業用資材の不振、原料価格の高騰等、環境が厳しい中で、ほぼ前年同期並みの売上をあげることが出来ましたが、利益面で苦戦しました。

その結果、売上高は2億10百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は2百万円(同57.7%減)となりました。

⑥輸出用原料・テキスタイル

主力の中近東向けの生地輸出はラマダンセールスの低迷により苦戦しました。

一方、三国取引においては、インドネシアから中近東向けの廉価版を中心とした低価格商材が堅調に推移しました。

日本からの欧米向け生地輸出は、円安を背景に堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は12億28百万円、営業利益は52百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末の55億53百万円に比し、2億69百万円増加し、58億23百万円となりました。増加の主因は、商品の増加2億12百万円であります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末の42億46百万円に比し、2億12百万円増加し、44億58百万円となりました。増加の主因は、短期借入金の増加2億円であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末の13億6百万円に比し、57百万円増加し、13億64百万円となりました。増加の主因は、繰越ヘッジ損益の増加63百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	885,009	981,883
受取手形及び売掛金	2,162,067	2,201,702
商品	1,219,350	1,431,686
その他	256,873	200,827
貸倒引当金	△7,772	△7,490
流動資産合計	4,515,529	4,808,609
固定資産		
有形固定資産	542,179	560,419
無形固定資産	167,439	158,341
投資その他の資産	328,232	295,886
固定資産合計	1,037,851	1,014,647
資産合計	5,553,381	5,823,257
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,139,603	2,273,435
短期借入金	1,314,000	1,514,000
未払法人税等	27,355	2,821
賞与引当金	18,800	5,400
その他	402,100	373,329
流動負債合計	3,901,858	4,168,986
固定負債		
長期借入金	120,000	104,000
その他	224,902	185,894
固定負債合計	344,902	289,894
負債合計	4,246,761	4,458,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	703,310	703,310
利益剰余金	311,208	305,057
自己株式	△2,903	△2,903
株主資本合計	1,011,615	1,005,463
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,281	21,680
繰延ヘッジ損益	△47,264	16,245
土地再評価差額金	320,986	320,986
評価・換算差額等合計	295,004	358,912
純資産合計	1,306,619	1,364,376
負債純資産合計	5,553,381	5,823,257

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,578,510	2,837,201
売上原価	1,469,971	2,621,045
売上総利益	108,539	216,156
販売費及び一般管理費	113,387	200,391
営業利益又は営業損失(△)	△4,848	15,764
営業外収益		
受取利息	352	150
受取配当金	3,293	522
受取賃貸料	3,450	3,450
その他	65	287
営業外収益合計	7,162	4,411
営業外費用		
支払利息	8,336	14,803
賃貸収入原価	2,998	3,396
為替差損	—	7,875
その他	68	1,762
営業外費用合計	11,403	27,837
経常損失(△)	△9,089	△7,661
特別利益		
関係会社株式売却益	74,483	—
特別利益合計	74,483	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	65,393	△7,661
法人税、住民税及び事業税	200	200
法人税等調整額	—	△1,709
法人税等合計	200	△1,509
四半期純利益又は四半期純損失(△)	65,193	△6,151

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。